大本山總持寺 中興の祖
石川素童禅師100回御遠忌記念

歴史的大英断

能登から鶴見へ

本山再建とさらなる隆盛を誓って

大本山總持寺の鶴見移転を決断し主導した中興の祖・石川素童禅師

宗門の未来見すえた移転

591年目の大英断

曹洞宗二大本山の一つ、大本山總持寺。初詣から始まり、若者にも人気の「み霊祭り」、区民らと作る「つるみ夢ひろば」といったイベントに加え、保育園から大学までの教育関連など、現在では地元鶴見と多くの縁をつないでいる。石川県能登の地から、鶴見に移転し108年目。今年、そのきっかけを作った人物・石川素童禅師の100回遠忌を迎える。「鶴見の本山」の礎はどのようにして築かれたのか、歴史を振り返る。

大本山總持寺は約700年前、瑩山紹瑾禅師によって石川県能登に開かれた。1万3千余カ寺に支えられ、興隆の歩みを進めていたが、1898年、大火によりほとんどの諸堂・伽藍を焼失。

当初は同地での再建が計画されたが、交通利便性や布教面、経済的観点などから都市部への移転を求める声が、全国各地から多くあったという。

「鶴見の本山」誕生

石川禅師は1905年に、本山最上位となる貫首に就任。本山存立の意義と宗門の使命、そして未来を見すえ、さらなる隆盛を誓って、鶴見への移転を決断した。能登では反対運動もおさめ、祖院として再建した。

前面に東京湾と房総半島、後には霊峰・富士という現在地に、1911年11月5日、「鶴見の本山」が誕生した。開創から591年目のことだった。

地元寺院ら活躍

移転の候補地は鶴見のほかにもあったとされる。駅から5分という立地の良さなども決め手になった敷地は、成願寺（現豊岡町）の境内地だった。

当時の同寺住職と、曹洞宗宗務局人事部長が旧知だったことから打診を受け、本寺である馬場の建功寺とも協議。献納を決めたことで鶴見移転が実現した。

移転には地元曹洞宗の寺院、区民らの多くが協力した。諸堂や伽藍の建築資材は、船で鶴見川を上り、トロッコを使って運搬された。そのトロッコ道が、現在の豊岡通りとなっている。

建設中の紫雲台、待鳳館、香積台（大正初期頃）

遷祖式を祝う群衆（現大駐車場付近）※写真2点總持寺提供

鶴見にやってきた大本山

世界に開かれた禅苑へ

東海道から境内へと続く人、人、人、その列約1㎞――1911年（明治44年）11月5日に行われた移転遷祖式の光景だ。

開祖瑩山禅師の位牌を移す一行には、石川禅師、知事や市長などの来賓、各地からの信徒総代など数千人が参加。位牌をおさめた唐櫃に加え、神輿も列に加わった。

当日、参拝客は15万人に上った。花火に色とりどりの風船など、鶴見全体が祝賀ムードだった。

僧侶のみならず、檀信徒、鶴見の人たちも境内や周辺に集まり、国旗や花提灯を飾って歓迎。遷祖の行列は、鶴見駅から当時仮本堂だった放光堂にたどり着くまで、1時間30分を要したという。

復活、必見の伽藍

能登の地で焼失した大伽藍も、鶴見の地で見事な復活を果たしている。

移転の際、当時の本堂として山形県の総穏寺から献納された放光堂をはじめ、大正年代には境内の中心である仏殿・大雄宝殿や、現在の総受付・香積台などが完成。昭和に入ると、東洋一の坐禅堂と呼ばれた大僧堂、そして法堂・大祖堂も建設。一般寺院の本堂にあたる大祖堂は、千畳敷で、本堂としては日本一の大きさを誇るとされる。

また、国の登録文化財指定の建物も多く、さまざまな年代の貴重な様式を見ることもできる。

現在の境内敷地は約15万坪。建物を近接させず、長い廊下でつなぐのは、能登での大火を教訓としたためだ。境内にイチョウや松が生い茂るのもまた、火災予防、そして都市の憩いの場としての景観に配慮したためである。

開港の地で復活を果たした總持寺。多文化のまち・鶴見を拠点に、「世界に開かれた禅苑」として発展を続けている。

石川素童禅師100回御遠忌 記念企画スケジュール

※記載のないものは無料、会場は三松閣

■記念展覧会「獅子吼」―石川素童禅師を偲ぶ―
10月10日～11月10日　9時～17時
【料金】一般300円、学生（中学生以上）200円、小学生以下無料
【会場】三松閣1階

■記念講演会
10月24日　13時30分～
大本山總持寺副監院 山口正章老師

■鶴見ゆかりの人物／土光敏夫展
10月31日～11月5日　10時～16時

■鶴見区茶華道協会「茶華道展」
華展11月2日～4日　茶席（立礼）11月3日
記念献花（大祖堂にて）11月2日～5日
小原流家元教授　今井春貞氏による

■小池緋扇人形展
11月2日～4日

■つるみ夢ひろばin總持寺
11月3日　9時30分～15時【会場】境内全域

■石川素童禅師100回御遠忌法要
11月5日　9時～【会場】大祖堂

現地レポ「總持寺」ってどんなとこ？

まず、参道入口の常夜灯に雄大さを感じる。存在感ある三門を抜け、広い境内に悠然と佇む伽藍の数々は必見。おすすめは銅板の屋根と青空のコントラストがまぶしい大祖堂。法要時以外は見学も可能だ。

日本一大きい大黒様や修行僧が磨く百間廊下など見どころ多数。喧噪を忘れ心穏やかになる空間。自分だけのパワースポットを探してみては。

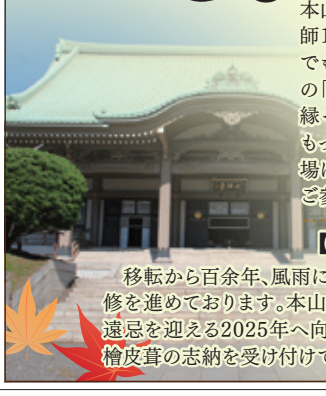
100年に1度の瞬間（とき）を鶴見の皆様とともに―

石川素童禅師100回御遠忌法要

11/5（火）

AM9：00～法要
会場／大祖堂

本山では11月2日～5日までを本山独住第四世中興石川素童禅師100回御遠忌としています。中でも5日には、これまでの祖師からの「相承」と、鶴見の皆さまとのご縁への「報恩感謝」の気持ちをもって、大法要を執り行います。会場は千畳敷の大祖堂です。奮ってご参加いただければ幸いです。



【瓦・檜皮葺志納のお願い】

移転から百余年、風雨に耐えてきた伽藍や向唐門の改修を進めております。本山開祖・瑩山紹瑾禅師700回大遠忌を迎える2025年へ向け、現在、伽藍の瓦、向唐門の檜皮葺の志納を受け付けております。

「鶴見の本山」の礎を築いた石川素童禅師100回御遠忌記念

今年の企画はひと味ちがう！〝特別〟な夢ひろばをご堪能あれ！

第8回 つるみ夢ひろば in 總持寺

11/3（祝）

10：00～15：00
会場／大本山總持寺
（鶴見2-1-1 ※JR鶴見駅西口歩5分）

入場無料・雨天決行・荒天中止
ペット同伴不可・ドローン飛行禁止・境内禁煙

当時の遷祖式の再現!? 100年に一度のパレード

かわいいお稚児さんや木遣りが先導
2基のみこしが練り歩く

鶴見神社の万灯神輿にお稚児さん

棟岩院の大御輿、区民らが行列

参道入口から仏殿まで
9：30スタート

門前バザール

参道・仏殿前・三松閣前

東日本大震災復興支援物産、總持寺ゆかりの能登物産、鶴見のグルメや認定土産など盛りだくさん。団体・企業PRゾーンも。全80店以上出店予定

ステージ

大祖堂

復興祈念・追善法要、仏教音楽・聲明、吹奏楽、和太鼓、弦楽、ダンス、日舞、ブラスバンド、独唱など多種彩々

文化ゾーン

三松閣ほか

鶴見ゆかりの人物・土光敏夫展10月31日～11月5日／茶華道展11月2日～4日（茶席は3日）／記念献花11月2日～5日

キッズコーナー

大祖堂前庭

紙芝居、工作、バルーン、昔遊び、割箸てっぽう、ニッ池水族館など子どもの楽しみ満載、ゆるキャラも大集合！

能登伝統の灯ろう「キリコ」も登場!!楽しい企画盛りだくさん！

問合せ／鶴見区文化協会 ☎045-582-0881　大本山總持寺 ☎045-581-6295